

令和元年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について

令和元年度（平成30年7月1日～令和元年6月30日）実績報告より

	先進医療A	先進医療B	計
① 先進医療技術数（令和元年6月30日現在）	29種類	59種類	88種類
② 実施医療機関数（令和元年6月30日現在）	1, 042施設※1	244施設※1	1, 184施設※2
③ 全患者数	38, 272人	906人	39, 178人
④ 総金額（⑤＋⑥）	約337. 7億円	約13. 9億円	約351. 6億円
⑤ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）	約47. 2億円	約6. 9億円	約54. 1億円
⑥ 先進医療費用の総額	約290. 5億円	約7. 0億円	約297. 5億円
⑦ 全医療費のうち先進医療分の割合（⑥／④）	86. 0%	50. 5%	84. 6%

※1 1施設で複数の先進医療技術を実施している場合でも、1施設として計上している。

※2 1施設で第2項先進医療と第3項先進医療（高度医療）の両方を実施している場合でも、1施設として計上している。

令和元年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について

令和元年度（平成30年7月1日～令和元年6月30日）実績報告等より

	先進医療A	先進医療B	計
① 先進医療技術数（平成30年 6月 30日現在）	28種類	64種類	92種類
② 新規承認技術数	1種類	6種類	7種類
③ 保険収載技術数	0種類	1種類	1種類
④ 実施取り下げ技術数	－	10種類	10種類
⑤ 削除技術数	0種類	－	0種類
⑥ 先進医療技術数（令和元年6月30日現在）	29種類	59種類	88種類
⑦ 総括報告書受理数	－	9種類	9種類

< 過去5年間の実績 >

	実績報告 対象期間	技術数	実施医療 機関数	全患者数	総金額	保険外併用療養 費の総額 (保険診療分)	先進医療及び 旧高度先進医 療の総額	1入院全医療費のう ち先進医療及び旧 高度先進医療分の 割合
平成27年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績	H26.7.1～H27.6.30 (12ヵ月)	108	786施設	28,153人	約295億円	約90億円	約205億円	69.5%
平成28年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績※2	H27.7.1～H28.6.30 (12ヵ月)	100	876施設	24,785人	約272億円	約86億円	約186億円	68.5%
平成29年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績	H28.7.1～H29.6.30 (12ヵ月)	102	885施設	32,984人	約278億円	約71億円	約207億円	74.6%
平成30年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績	H29.7.1～H30.6.30 (12ヵ月)	92	936施設	28,539人	約285億円	約45億円	約240億円	84.3%
令和元年6月30日時点で実施され ていた先進医療の実績	H30.7.1～R1.6.30 (12ヵ月)	88	1,184施設	39,178人	約352億円	約54億円	約298億円	84.6%

※1 平成28年度診療報酬改定の際、一部の技術が保険導入又は廃止されたことに留意する必要がある。

※2 平成30年度診療報酬改定の際、一部の技術が保険導入又は廃止されたことに留意する必要がある。

※3 令和元年度診療報酬改定の際、一部の技術が保険導入又は廃止されたことに留意する必要がある。

令和元年6月30日時点における先進医療Aに係る費用
令和元年度実績報告(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平 均 入院期間 (日)	年 間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
1	高周波切除器を用いた子宮筋症核出術	平17.10.1	128,051,352	44,519,272	11.4	147	4
2	陽子線治療	平13.7.1	4,340,473,653	3,493,466,780	19.8	1,295	15
3	骨髄細胞移植による血管新生療法	平15.7.1	-	-	-	-	-
4	神経変性疾患の遺伝子診断	平15.9.1	30,010,239	1,241,800	34.0	60	5
5	重粒子線治療	平15.11.1	2,427,623,008	2,224,327,000	9.6	720	6
6	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	平16.11.1	816,429,163	7,617,982	51.0	201	12
7	家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	平16.12.1	920,840	240,000	-	8	1
8	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	平16.12.1	10,976,370	3,390,400	9.8	13	2
9	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	平17.2.1	15,898,447	6,336,520	11.8	15	6
10	末梢血単核球移植による血管再生治療	平17.6.1	-	-	-	-	-
11	歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	平19.10.1	4,316,723	3,363,620	-	56	12
12	樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	平17.2.1	3,136,794	1,690,000	10.5	4	1
13	自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	平8.11.1	6,912,388	5,994,200	1.0	16	1
14	多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	平20.7.1	24,862,660,121	22,979,323,917	1.1	33,868	883
15	培養細胞によるライソゾーム病の診断	平20.7.1	-	-	-	-	-
16	培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	平20.8.1	-	-	-	-	-
17	角膜ジストロフィーの遺伝子解析	平20.12.1	1,289,710	194,980	1.3	8	3
18	MEN1遺伝子診断	平24.8.1	2,355,154	703,460	3.0	10	2
19	ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	平26.1.1	72,242,586	11,102,954	2.5	375	13
20	細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	平26.1.1	26,022,064	1,539,624	6.0	55	7
21	LDLアフェレシス療法	平27.4.1	596,450	-	25.5	6	1
22	多項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断	平27.5.1	478,529,070	2,521,900	79.0	54	3
23	CYP2D6遺伝子多型検査	平27.9.1	1,304,718	1,298,468	-	2	1
24	MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法	平28.2.1	202,166,835	88,389,485	2.5	821	18
25	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	平29.7.1	270,152,905	163,175,714	9.8	187	25
26	糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査	平30.1.1	8,919,413	1,014,960	0.2	295	4

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平 均 入院期間 (日)	年 間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
27	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術	平30.3.1	9,741,151	5,008,205	10.4	7	2
28	血中TARC濃度の迅速測定	平30.4.1	51,207,331	3,624,464	15.9	34	2
29	Birt-Hogg-Dubé(BHD)症候群の遺伝子診断	平31.2.1	427,310	336,900	—	15	1
合 計			33,772,363,795	29,050,422,605		38,272	1,030

※未実施により実績報告がないものは「—」としている。

令和元年6月30日時点における先進医療Bに係る費用
令和元年度実績報告（平成30年7月1日～令和元年6月30日）

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 （円）	先進医療総額 （円）	平　　均 入院期間 （日）	年　間 実施件数 （件）	実施 医療機関数 （機関数）
1	パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法　上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	平22.5.1	－	－	－	－	－
2	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法　ホルモン不応性再燃前立腺がん（ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA—A24が陽性であるものに限る。）	平22.6.1	－	－	－	－	－
4	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植　重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	平22.11.1	10,039,052	7,338,692	33.5	2	1
5	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法　肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）	平24.1.1	－	－	－	－	－
6	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた免疫療法　非小細胞肺がん（従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。）	平24.6.1	4,991,550	4,680,000	－	4	1
7	コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法　コレステロール塞栓症	平24.11.1	7,398,362	3,807,210	22.7	6	2
8	NKT細胞を用いた免疫療法　頭頸部扁平上皮がん（診断時のステージがⅣ期であって、初回治療として計画された一連の治療後の完全奏功の判定から八週間以内の症例（当該期間内に他の治療を実施していないものに限る。）に限る。）	平25.3.1	－	－	－	－	－
9	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法　C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変（Child－Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法（肝移植術を除く。）ではその治療に係る効果が認められないものに限る。）	平25.6.1	－	－	－	－	－
10	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法　早期乳がん（長径が一・五センチメートル以下のものに限る。）	平25.8.1	－	－	－	－	－
11	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法　成人T細胞白血病リンパ腫（症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。）	平25.8.1	14,211,119	11,315,459	3.6	11	8
12	冠動脈又は末梢動脈に対するカテーテル治療におけるリーナルガードを用いた造影剤腎症の発症抑制療法　腎機能障害を有する冠動脈疾患（左室駆出率が三十パーセント以下のものを除く。）又は末梢動脈疾患	平25.10.1	－	－	－	－	－
14	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検　早期胃がん	平26.1.1	76,566,325	3,267,636	14.5	52	11
16	アルテプラーゼ静脈内投与による血栓溶解療法　急性脳梗塞（当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。）	平26.5.1	1,450,944	210,434	18.0	1	1
17	放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法　初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫（病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。）	平26.6.1	84,586,558	47,324,680	16.1	30	21
19	FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断　アルツハイマー病	平26.8.1	4,203,759	2,788,119	0.9	34	9
20	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロビドグレレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法　全身性エリテマトーデス（初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。）	平26.8.1	971,980	36,690	19.0	1	1

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
22	NKT細胞を用いた免疫療法 肺がん(小細胞肺がんを除き、ステージⅡA期、ⅡB期又はⅢA期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	平26.9.1	1,386,740	-	-	44	12
23	ベペルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	平26.9.1	-	-	-	-	-
24	腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中のマイトマイシンC腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル腹腔内投与の併用療法 腹膜偽粘液腫(画像検査により肝転移及びリンパ節転移が認められないものであって、放射線治療を行っていないものに限る。)	平26.11.1	-	-	-	-	-
25	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍(原発性若しくは転移性脳腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))又は上咽頭、頭蓋骨その他脳に近接する臓器に発生する腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))であり、かつ、再発が疑われるものに限る。)	平26.12.1	846,676	212,000	-	2	2
26	術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	平26.12.1	2,316,505	783,805	15.0	2	2
27	リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	平27.2.1	3,943,901	1,573,980	1.2	18	6
29	周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺がん(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	平27.6.1	-	-	-	-	-
30	コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 半月板損傷(関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。)	平27.7.1	4,514,492	1,047,748	22.8	4	1
31	LDLアフェレシス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。)	平27.11.1	28,251,507	10,000,175	35.3	9	1
33	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法 腫瘍、顎骨骨髓炎、外傷等の疾患による広範囲の顎骨又は歯槽骨欠損(上顎にあつては連続した三分の一顎程度以上の顎骨欠損又は上顎洞若しくは鼻腔への交通が認められる顎骨欠損に限り、下顎にあつては連続した三分の一顎程度以上の歯槽骨欠損又は下顎区域切除以上の顎骨欠損に限り、歯槽骨欠損にあつては歯周疾患及び加齢による骨吸収を除く。)	平28.1.1	728,976	145,606	9.0	1	1
34	テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	平28.1.1	32,649,677	25,146,692	11.9	10	7
35	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	平28.1.1	1,322,394	736,814	6.0	3	2
36	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療 褥瘡又は難治性皮膚潰瘍(美容等に係るものを除く。)	平28.1.1	11,873,562	484,322	45.3	9	4
38	FOLFIRINOX療法 胆道がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものに限る。)	平28.2.1	27,490,701	8,861,700	19.1	14	4
39	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	平28.4.1	59,147,341	33,605,051	15.9	32	7

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
40	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの(生検又は手術が予定されている患者に係るものに限る。)	平28.4.1	26,514,582	2,394,000	16.0	20	3
41	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷教会によるAISがAである患者に係るものに限る。))を呈するものに限る。)	平28.4.1	-	-	-	-	-
42	陽子線治療 肝細胞がん(初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild—Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。)	平28.6.1	13,619,030	11,587,000	15.3	4	3
43	重粒子線治療 肝細胞がん(初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild—Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。)	平28.6.1	27,683,864	26,920,000	2.1	8	3
45	重粒子線治療 非小細胞肺癌(ステージがⅠ期であって、肺の末梢に位置するものであり、かつ肺切除術が困難なものに限る。)	平28.7.1	37,171,500	35,980,000	2.7	11	4
46	ゲムシタビン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、TNM分類がT4のものに限る。)	平28.10.1	33,607,850	29,340,000	17.7	9	3
47	ゲムシタビン静脈内投与、ナブ—パクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う膵臓がん	平28.10.1	23,960,223	1,050,410	18.4	8	1
48	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法 子宮頸がん(術後に再発したものであって、同時化学放射線療法に不応かつ手術が不能なものに限る。)	平28.11.1	3,855,150	2,017,270	9.5	2	1
50	ヒドロキシクロロキン療法 関節リウマチ(既存の合成抗リウマチ薬による治療でDAS28が二・六未満を達成できないものに限る。)	平28.11.1	5,048,052	2,197,222	-	33	1
51	水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	平28.12.1	141,560,232	21,519,721	29.1	32	14
52	トラスツズマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 乳房外パジェット病(HER2が陽性であって、切除が困難な進行性のものであり、かつ、術後に再発したもの又は転移性のものに限る。)	平29.2.1	5,413,726	4,258,696	3.0	7	1
53	術後のカベシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがⅠ期、Ⅱ期又はⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	平29.4.1	13,413,234	10,894,794	2.3	12	6
54	S—Ⅰ内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	平29.4.1	-	-	-	-	-
55	S—Ⅰ内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	平29.4.1	71,917,469	4,407,200	33.4	30	9
56(1)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。)(陽子線治療を実施する施設)	平29.6.1	19,407,468	17,600,000	2.5	11	5
56(2)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。)(外科的治療を実施する施設)	平29.6.1	-	-	-	-	-
57	131I—MIBGを用いた内照射療法 神経芽腫(COGリスク分類又はINRG治療前分類で高リスク群と診断されるものであって、化学療法及び造血幹細胞移植が行われる予定のものに限る。)	平29.7.1	41,450,810	2,975,000	128.8	5	1
58	シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法 全身性強皮症(ステロイド又は少なくとも一種類のステロイド以外の免疫抑制剤に抵抗性を有するものに限る。)	平29.8.1	22,043,855	4,509,000	55.4	5	1

整理 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
59	自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	平29.10.1	9,191,152	1,884,910	23.6	8	3
60	ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 進行再発非小細胞肺癌(ステージがⅢB期、ⅢC期若しくはⅣ期又は術後に再発したものであって、化学療法が行われたものに限る。)	平29.11.1	195,164,526	157,494,379	14.0	46	18
61	術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	平30.2.1	22,267,766	79,714	0.2	85	13
62	TRPV2阻害薬経口投与療法 心不全(十三歳以上の患者に係るものであって、筋ジストロフィーによるものに限る。)	平30.4.1	7,097,348	20,793	7.1	13	9
64	重粒子線治療 直腸がん(術後に再発したものであって、骨盤内に限局するものに限る。)	平30.6.1	42,237,620	37,783,000	13.2	12	5
65	マルチプレックス遺伝子パネル検査(固形がん(根治切除が不可能又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	2018/8/1	153,750,476	116,903,376	4.0	130	11
66	マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん(ステージがⅢ期若しくはⅣ期で手術が不能なもの又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。)	平30.10.1	48,191,467	48,177,087	—	108	7
67	腎悪性腫瘍手術により摘出された腎臓を用いた腎移植 末期腎不全(慢性維持透析が困難なものに限る。)	平31.2.1	—	—	—	—	—
68	切除支援のためのマイクロコイル併用気管支鏡下肺マッピング法 微小肺病変	平31.2.1	50,799,803	1,001,860	10.1	18	5
69	反復経頭蓋磁気刺激療法 薬物療法に反応しない双極性障害の抑うつエピソード	平31.3.1	—	—	—	—	—
70	自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関節症(軟骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術の適応となるものに限る。)	平31.4.1	—	—	—	—	—
合 計			1,394,259,324	704,362,245		906	231

※未実施等により実績報告がないものは「—」としている。

令和元年6月30日時点における先進医療Bの
終了予定日、計画時患者数、登録症例数、協力医療機関数及び年間実施件数

告示 番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患 者数	登録症例 数	協力医 療機関 数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6 月までの実績) (再掲)
1	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵巣がん又は原発性腹膜がん	埼玉医科大学国際医療センター	平22. 5. 1	令1. 11. 1	654	655	43	-
2	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法 ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA—A24が陽性であるものに係るものに限る。)	久留米大学病院	平22. 6. 1	平30. 5. 31	91	69	6	-
4	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	平22. 11. 1	令3. 5. 20	20	9	5	2
5	ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	静岡県立静岡がんセンター	平24. 1. 1	令3. 12. 31	800	804	49	-
6	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた免疫療法 非小細胞肺がん(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	東京大学医学部附属病院	平24. 6. 1	令1. 6. 30	85	26(3)	1	4
7	コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール塞栓症	独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台病院	平24. 11. 1	令1. 12. 31	35	34	13	6
8	NKT細胞を用いた免疫療法 頭頸部扁平上皮がん(診断時のステージがⅣ期であって、初回治療として計画された一連の治療後の完全奏功の判定から八週間以内の症例(当該期間内に他の治療を実施していないものに限る。))に限る。)	千葉大学医学部附属病院	平25. 3. 1	令5. 3. 31	66	23	0	-
9	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法 C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変(Child—Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法(肝移植術を除く。))ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	山口大学医学部附属病院	平25. 6. 1	令4. 3. 31	34	3	0	-
10	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。)	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院	平25. 8. 1	令5. 7. 31	372	372	8	-
11	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院	平25. 8. 1	令8. 3. 18	38	38	17	11
12	冠動脈又は末梢動脈に対するカテーテル治療におけるリーナルガードを用いた造影剤腎症の発症抑制療法 腎機能障害を有する冠動脈疾患(左室駆出率が三十パーセント以下のものを除く。)	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	平25. 10. 1	平28. 9. 30	60	60	1	-
14	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	慶應義塾大学病院	平26. 1. 1	令7. 5. 26	225	143	12	52
16	アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	国立循環器病研究センター	平26. 5. 1	平31. 3. 31	300	131	40	1
17	放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	埼玉医科大学国際医療センター	平26. 6. 1	令11. 9. 29	130	122	29	30
19	FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断 アルツハイマー病	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター	平26. 8. 1	令1. 12. 31	190	138	10	34

告示 番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患者数	登録症例数	協力医療機関数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6月までの実績) (再掲)
20	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法 全身性エリテマトーデス(初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。)	九州大学病院	平26. 8. 1	令2. 9. 30	150	13	10	1
22	NKT細胞を用いた免疫療法 肺がん(小細胞肺がんを除き、ステージがⅡA期、ⅡB期又はⅢA期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター	平26. 9. 1	令2. 9. 30	56	58	14	44
23	ベベルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	大阪大学医学部附属病院	平26. 9. 1	令1. 8. 31	6	6	5	－
24	腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中のマイトマイシンC腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル腹腔内投与の併用療法 腹膜偽粘液腫(画像検査により肝転移及びリンパ節転移が認められないものであって、放射線治療を行っていないものに限る。)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院	平26. 11. 1	令6. 7. 31	75	75	0	－
25	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍(原発性若しくは転移性脳腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))又は上咽頭、頭蓋骨その他脳に近接する臓器に発生する腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))であり、かつ、再発が疑われるものに限る。)	北海道大学病院	平26. 12. 1	令1. 12. 31	99	61	2	2
26	術前のS－1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	静岡県立静岡がんセンター	平26. 12. 1	令8. 3. 26	130	29	48	2
27	リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	神戸大学医学部附属病院	平27. 2. 1	令2. 1. 31	80	79	20	18
29	周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺がん(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	大阪大学医学部附属病院	平27. 6. 1	令4. 10. 31	500	335	9	－
30	コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 半月板損傷(関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。)	大阪大学医学部附属病院	平27. 7. 1	令3. 12. 31	35	11	0	4
31	LDLアフェレシス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。)	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	平27. 11. 1	令3. 10. 31	35	22	0	9
33	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法 腫瘍、顎骨骨髓炎、外傷等の疾患による広範囲の顎骨又は歯槽骨欠損(上顎にあっては連続した三分の一顎程度以上の顎骨欠損又は上顎洞若しくは鼻腔への交通が認められる顎骨欠損に限り、下顎にあっては連続した三分の一顎程度以上の歯槽骨欠損又は下顎区域切除以上の顎骨欠損に限り、歯槽骨欠損にあっては歯周疾患及び加齢による骨吸収を除く。)	名古屋大学医学部附属病院	平28. 1. 1	令4. 7. 21	骨再生予定部位83部位(対照群28部位及び間葉系細胞群55部位:最大29例)	骨再生予定部位数:対照群11部位及び間葉系細胞群17部位(4例)	0	1
34	テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	杏林大学医学部付属病院	平28. 1. 1	令6. 7. 10	146	35	32	10
35	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	国立大学法人富山大学附属病院	平28. 1. 1	令2. 3. 31	40	12	7	3
36	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療 褥瘡又は難治性皮膚潰瘍(美容等に係るものを除く。)	聖マリアンナ医科大学病院	平28. 1. 1	令2. 6. 30	23	23	5	9
38	FOLFIRINOX療法 胆道がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものに限る。)	東京大学医学部附属病院	平28. 2. 1	令3. 7. 31	35	17	9	14
39	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	東京医科大学病院	平28. 4. 1	令6. 9. 30	100	94	12	32

告示 番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患者数	登録症例数	協力医療機関数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6月までの実績) (再掲)
40	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの(生検又は手術が予定されている患者に係るものに限る。)	北海道大学病院	平28. 4. 1	令1. 12. 31	90	74	2	20
41	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷教会によるAISがAである患者に係るものに限る。))を呈するものに限る。)	大阪大学医学部附属病院	平28. 4. 1	令4. 3. 31	10	5	0	－
42	陽子線治療 肝細胞がん(初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild―Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。)	北海道大学病院	平28. 6. 1	令7. 5. 31	180	30	10	4
43	重粒子線治療 肝細胞がん(初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild―Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。)	群馬大学医学部附属病院	平28. 6. 1	令5. 6. 1	130	21	4	8
45	重粒子線治療 非小細胞肺がん(ステージがⅠ期であって、肺の末梢に位置するものであり、かつ肺切除術が困難なものに限る。)	九州国際重粒子線がん治療センター	平28. 7. 1	令5. 6. 30	150	33	4	11
46	ゲムシタピン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、TNM分類がT4のものに限る。)	放射線医学総合研究所病院	平28. 10. 1	令5. 9. 30	82	29	3	9
47	ゲムシタピン静脈内投与、ナブパクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う膵臓がん	東京大学医学部附属病院	平28. 10. 1	【導入相試験】 2020/11/30 【探索相試験】導入 相試験終了から4.5 年間	【導入相試験】 6～18 例 【探索相試験】 35例	9	0	8
48	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法 子宮頸がん(術後に再発したものであって、同時化学放射線療法に不応かつ手術が不能なものに限る。)	日本医科大学付属病院	平28. 11. 1	令2. 4. 18	27	8	0	2
50	ヒドロキシクロロキン療法 関節リウマチ(既存の合成抗リウマチ薬による治療でDAS28が二・六未満を達成できないものに限る。)	慶應義塾大学病院	平28. 11. 1	令2. 8. 31	120例 (HCQ群60 例、ヒスト リカルコン トロール群 60例)	HCQ群 42 例	0	33
51	水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	慶應義塾大学病院	平28. 12. 1	令2. 2. 29	360	40	16	32
52	トラスツズマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 乳房外パジェット病(HER2が陽性であって、切除が困難な進行性のものであり、かつ、術後に再発したもの又は転移性のものに限る。)	慶應義塾大学病院	平29. 2. 1	令3. 9. 1	13	13	0	7
53	術後のカペシタピン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがⅠ期、Ⅱ期又はⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	国立がん研究センター中央病院	平29. 4. 1	令13. 11. 9	150	25	19	12
54	S－1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	関西医科大学附属病院	平29. 4. 1	令5. 5. 31	180	0	1	－
55	S－1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	名古屋大学医学部附属病院	平29. 4. 1	令2. 4. 1	50	53	19	30
56(1)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。)【陽子線治療を実施する施設】	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	平29. 6. 1	令11. 12. 31	全290例のうち陽子線治療群83例	30例(陽子線治療群12症例)	5	11
56(2)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。)【外科的治療を実施する施設】	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	平29. 6. 1	令11. 12. 31	全290例のうち陽子線治療群83例	30例(陽子線治療群12症例)	16	－
57	131I－MIBGを用いた内照射療法 神経芽腫(COGリスク分類又はINRG治療前分類で高リスク群と診断されるものであって、化学療法及び造血幹細胞移植が行われる予定のものに限る。)	国立大学法人金沢大学附属病院	平29. 7. 1	令2. 12. 31	8	7	0	5
58	シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法 全身性強皮症(ステロイド又は少なくとも一種類のステロイド以外の免疫抑制剤に抵抗性を有するものに限る。)	九州大学病院	平29. 8. 1	令4. 7. 31	12	5	0	5

告示 番号	先進医療技術名	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時患者数	登録症例数	協力医療機関数	年間実施件数 (平成30年7月～令和元年6月までの実績) (再掲)
59	自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 パー ジャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであ つて、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	京都府立医科大学附属病院	平29. 10. 1	令4. 9. 30	25	12	4	8
60	ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の 併用療法 進行再発非小細胞肺がん(ステージがⅢB 期、ⅢC期若しくはⅣ期又は術後に再発したものであ つて、化学療法が行われたものに限る。)	横浜州市市民病院	平29. 11. 1	令4. 10. 1	350	100	26	46
61	術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸 がん(ステージがⅢ期であつて、肉眼による観察及び病 理学的見地から完全に切除されたと判断されるもの に限る。)	国立研究開発法人国立がん 研究センター中央病院	平30. 2. 1	令10. 3. 30	880	93	19	85
62	TRPV2阻害薬経口投与療法 心不全(十三歳以上の 患者に係るものであつて、筋ジストロフィーによるもの に限る。)	独立行政法人国立病院機構 刀根山病院	平30. 2. 1	令5. 3. 31	20	15	14	13
64	重粒子線治療 直腸がん(術後に再発したものであ つて、骨盤内に限局するものに限る。)	放射線医学総合研究所病院	平30. 6. 1	令5. 5. 31	32	15	4	12
65	マルチプレックス遺伝子パネル検査 固形がん(根治切 除が不可能又は治療後に再発したものであつて、治療 法が存在しないもの又は従来の治療法が終了している もの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	東京大学医学部附属病院	平30. 8. 1	平31. 1. 31	200	153	11	130
66	マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん (ステージがⅢ期若しくはⅣ期で手術が不能なもの又は 治療後に再発したものであつて、治療法が存在しない もの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従 来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。)	大阪大学医学部附属病院	平30. 10. 1	令2. 3. 31	200	125	13	108
67	腎悪性腫瘍手術により摘出された腎臓を用いた腎移植 末期腎不全(慢性維持透析が困難なものに限る。)	医療法人徳洲会 東京西徳 洲会病院	平31. 2. 1	令11. 6. 30	42	0	1	－
68	切除支援のためのマイクロコイル併用気管支鏡下肺 マッピング法 微小肺病変	東京大学医学部附属病院	平31. 2. 1	令3. 3. 31	65	20	7	18
69	反復経頭蓋磁気刺激療法 薬物療法に反応しない双極 性障害の抑うつエピソード	国立研究開発法人 国立精 神・神経医療研究センター病 院	平31.3.1	令5. 3. 31	76症例(実 刺激群38 例、偽刺 激群38例)	0	2	－
70	自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関 節症(軟骨欠損を伴うものであつて、高位脛骨骨切り術 の適応となるものに限る。)	東海大学医学部付属病院	平31. 4. 1	令10. 3. 31	20	0	0	－

※ 記載のない先進医療技術については、既に先進医療から削除されたものであること。(平成元年6月30日時点)

※ 終了予定日・計画時患者数は、医療機関より提出された実績報告(平成元年6月30日時点)から抽出したものであり、実施計画の変更状況等の反映を踏まえ、今後変更する可能性がある。

※ 年間実施件数については、未実施等により実績報告がないものは「－」としている。

1年間(平成30年7月1日～令和元年6月30日)の実施件数が
0件である先進医療技術(先進医療A)に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	実施医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 平成29年7月～平成30年6月ま での実績 (実施可能であるすべての医療 機関の実績)
3	骨髄細胞移植による血管新生療法	京都府立医科大学附属病院	現在先進Aは、過去に実施した患者が増悪時のみ利用できるシステムであり、最近増悪無く実施ありません。新規患者は自費医療または、先進Bで実施しています。	今後も、新規患者は自費医療または先進Bで実施するため、過去に先進Aで実施した患者の病変が悪化した場合に実施する予定です。	1件
10	末梢血単核球移植による血管再生治療	三重大学医学部附属病院	治療継続中の患者の四肢の状態が安定し、必要なかったため。新規患者の導入がなかったため。	患者の症状が増悪した時に加療を予定する。	1件
15	培養細胞によるライソゾーム病の診断	大阪市立大学医学部附属病院	該当患者なし	(回答無し)	0件
16	培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	島根大学医学部附属病院	当院における先進医療A「培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断」は平成20年4月より算定開始が承認されましたが、適応する患者の発生がなかったため、平成30年7月1日から令和元年6月30日における実績は0件となりました。	本院を受診せずに他院から検体だけが郵送付されるような症例は、できるだけ本院を受診していただくよう促す。	0件

1年間(平成30年7月1日～令和元6月30日)の実施件数が
0件である先進医療技術(先進医療B)に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	申請医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 平成29年7月～平成30年6月 までの実績 (実施可能であるすべての医 療機関の実績)
1	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	埼玉医科大学国際医療センター	本試験は既に症例登録期間が終了しているため。	該当しない。	0件
2	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテーラーメイドのがんワクチン療法 ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに限る。)	久留米大学病院	当該試験への参加希望者は数名いたが、適応症(ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに限る。))に該当せず、登録まで至らなかったため	2017年5月31日を以て登録終了となったため特記事項なし	0件
5	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん	静岡県立静岡がんセンター	平成28年8月に予定した症例登録が完了し、現在は観察期間に入っているため。		0件
8	NKT細胞を用いた免疫療法 頭頸部扁平上皮がん(診断時のステージがⅣ期であって、初回治療として計画された一連の治療後の完全奏功の判定から8週間以内の症例(当該期間内に他の治療を実施していない)	千葉大学医学部附属病院	先進医療技術審査部会の修正案を特定認定再生医療等委員会へ審議中であり、新規募集が止まっている。再生医療の新施行規則対応への審議も行っている。	現在、特定認定再生医療等委員会へ申請中	0件
9	C型肝炎に起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法 C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変(Child-Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法(肝移植術を除く。))ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	山口大学医学部附属病院	今般のC型肝炎ウイルスに対する治療法の進歩により、C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者の絶対的減少とともに、C型非代償性肝硬変患者に対する抗ウイル治療が承認となったため、本研究の対象患者が減少していることが考えられるため。	引き続き情報発信を行い、患者のリクルートを進めていく。	0件
10	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	平成29年11月に予定症例数到達により、症例登録を終了したため		26件
12	冠動脈又は末梢動脈に対するカテーテル治療におけるリーナールガードを用いた造影剤腎症の発症抑制療法	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	予定症例数の終了に伴うもの	—	0件
23	ベベルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	大阪大学医学部附属病院	本院で実施された症例が昨年の時点ですでに予後調査24箇月を含めた試験計画規定の調査・観察をすべて終了しているため。	すでに症例登録の期間は終了しており、新規の症例は発生せず、特に対策は不要である。	1件

告示 番号	技術名	申請医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 平成29年7月～平成30年6月 までの実績 (実施可能であるすべての医 療機関の実績)
24	腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中のマイト マイシンC腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル腹腔内投与 の併用療法 腹膜偽粘液腫(画像検査により肝転移及びリンパ 節転移が認められないものであって、放射線治療を行っていな いものに限る。)	国立研究開発法人国立国際 医療研究センター病院	2017年2月に予定症例数の75例に達したため、それ以降の新規登録 を終了しました。	これまでに実施した75症例に対して、5年間の追跡調査の期間に 入っておりますので、調査を継続中です。	0件
29	周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞 肺癌(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	大阪大学医学部附属病院	本試験の症例登録は、2015年9月1日からであり、現在の登録数は 335症例である。10施設で多施設共同研究を研究しているが、脳梗塞 発生による安全性検討の為の登録一時中断が2回(2016年7～8月、 2017年4～5月)あり、独立安全性モニタリング委員会での審議等を経 て実施計画書を改訂し、安全性を確保した上で再開したが、2017年7 月の弊院倫理審査委員会において、本試験における「SAEの倫理審 査委員会への報告遅延」等に対して審議がなされ、適切な体制の再 構築の策定まで、研究実施一時中断が決定された。その後、早期の 再開を目指し弊院未来医療開発部と連携を図り、研究責任医師およ び研究関係者と共に体制整備に努めていた。研究再開に向けて協議 を重ねていたが、中断期間の長期化や統計学的な観点など諸事情を 検討した結果、今後の症例数集積及び当初の予定症例数への到達 が極めて難しい状況と判断せざるを得ないと判断し、現在の登録数 335例についての観察結果を基に効果を評価することに実施計画書 を変更し、2018年11月9日に認定臨床研究審査委員会(大阪大学臨床 研究審査委員会)にて承認された。	新たな被験者の組み入れは終了し、登録された335例についての 観察を引き続き行い、その結果を基に効果を評価することとする。	0件
41	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二 月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷 学会によるAISがAである患者に係るものに限る。))を呈するも のに限る。)	大阪大学医学部附属病院	2019年1月31日現在、目標症例数10症例に対して、本先進医療にお ける登録数は4症例である。本先進医療への患者の問い合わせは月 1-2件ほどあるが、年齢、損傷部位、損傷部位の長さによって、適格 基準に合致する候補患者でなく、症例登録の主たる遅延原因として挙 げられる。	症例登録の推進のため、関連・協力施設での患者紹介のお願いや 学会発表等でのアナウンスを継続的に行っていく。現在登録待機 患者は0例であるが、4ヶ月に1例の登録を目指し、2021年3月には 目標症例数に到達すると見込み、登録期間を24か月間延長するこ とを計画した。	2件
54	膵癌腹膜転移に対するS-1+パクリタキセル経静脈腹腔内投与 併用療法	関西医科大学附属病院	本試験の先進医療内容はジェネリック医薬品で構成されており、試験 遂行のための資金獲得が困難な状況です。2019年6月よりクラウド ファンディングを利用した資金獲得を行っており、その目途が立ち、現 在臨床研究法に沿うべくプロトコル改訂中です。	試験開始準備中	0件
67	腎悪性腫瘍手術により摘出された腎臓を用いた腎移植 末期 腎不全(慢性維持透析が困難なものに限る。)	医療法人徳洲会 東京西徳 洲会病院	2019年1月31日の告示を受けて、試験実施準備を進めていたが、同 年3月31日をもって研究責任医師が退職となった。以後、本技術の実 施が可能な実施責任医師の要件を満たした医師が不在であるため、 実施件数が0となった。	実施責任医師の要件を医師の確保が急務である。 その具体的な活動として、当法人グループの医師対策チームが、 医師確保に奔走している。また、当法人グループ内に所属している かつ、要件を満たす医師への本研究への参加を打診している。	-
69	薬物療法に反応しない双極性うつ病への反復経頭蓋磁気刺激 療法	国立研究開発法人国立精 神・神経医療研究センター	平成31年3月1日に告示後、厳密な管理体制で開始すべく実施体制の 整備をしているため、リクルート開始としておりません。	ワークシート、電子登録システム、評価など体制を整え、機器への 習熟トレーニングも併せて行い、先進医療が実施できるよう鋭意進 めて参ります。	-
70	自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関節症(軟 骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術の適応となるも のに限る。)	東海大学医学部付属病院	現在、再生医療等安全性確保法改定の対応により本臨床研究を開始 していないため患者数は0である。	現在、対応中である。	-

※「-」は昨年度未実
施の医療機関